



学校だより 西北歳時記

長崎市立西北小学校 校長 立本 祐輔

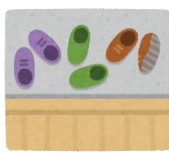

NO. 2 令和4年5月11日 発行



はきものを そろえると



はきものをそろえると	心もそろおう
はきものもそろおう	心がそろおう
ぬぐとぎにそろえておくと	はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら	だまってそろえて
おいてあげよう	そろえばきこつ
世界中の人の心も	そろおうでしょう



はきものをそろえることが、自分の心を美しくすることにもつながっているということを教えてくれるすてきな詩です。「だれかがみだしておいたらだまってそろえておいてあげよう」というところも、後から使う人を思いやる気遣いや、まずは自分からやろうとする心構えが感じられ、さわやかな気持ちになります。この詩は、長野県にあるお寺の住職の方がつくられたそうです。

ところで、今年度の始業式で、私は子どもたちに次のような話をしました。

「美しい」の中には、目に見えるものと目には見えないものがあります。私たちは青い空や海、緑の山々、色とりどりの花を見て「美しい」と心の中で思います。それは、決して目には見えません。でも、「美しい」ものを見て「美しい」と感じる心は、みなさんの成長にとってとても大切なものです。トイレのスリッパが並んでいるのを見て「美しい」と感じる人は、その心も美しいと思います。そのような人は、きっと自分からスリッパを並べてくれていると思います。

ロッカーの整頓やトイレのスリッパ並べについては、西北小学校でも継続して取り組んでいます。委員会の子どもたちが定期的に見回って、その結果をお昼の校内放送で紹介しています。本校の校訓である「美しい学校」の実現のためにも、これからも全校そろえて取り組んでいきたいと思っています。

